

# スポーツ科学学術院と静岡県南伊豆町との間で、住民の健康づくりに関する協定書の調印式を開催

## 健康スポーツ科学を活かした「健康創造型生涯活躍のまちづくり」に向けた取り組みを推進

早稲田大学スポーツ科学学術院は、南伊豆町との”住民の健康づくりに関する協定”の調印式を2016年9月5日に開催した。

町では、地方創生の一環として、生涯活躍のまち(日本版CCRC)構想に取り組んでおり、昨年度策定した基本計画では「健康創造型生涯活躍のまち」というコンセプトを決定している。その実現のために「認知症にならない」「がんにならない」「足腰が弱くならない」ための取り組みを積極的に行うとともに、地域の環境整備を進めていくこととしている。

この度、早稲田大学スポーツ科学学術院と、住民の健康寿命を延伸するための調査、分析に関する事項や住民の健康意識の向上、健康増進事業の推進に関する事項、学術研究活動の支援などについて連携して取り組むため、協定を締結した。

友添秀則学術院長は、スポーツ科学はこれからの社会にとって重要な領域であると自負している。健康タウン、高齢者の医療費の削減などが議論される中、活力あるまちづくりや地域づくりにはスポーツが必須となっている。優秀なスタッフがそろっているので、役に立てることがあれば協力していきたいとコメントした。

梅本和熙町長は、健康創造型生涯活躍のまちの実現ための大きな柱として、住民の健康づくりを位置付けており、この度、住民の健康寿命を延伸するための取組について早稲田大学スポーツ科学学術院と連携して取り組む運びとなったことを大変うれしく思っている。住民の健康づくりについて本町が一丸となって取り組んでいく所存であるとコメントした。



担当

スポーツ科学学術院 岡浩一朗研究室



早稲田大学 スポーツ科学学術院  
Faculty of Sport Sciences, Waseda University